

令和 5年 7月「月報」

1 はじめに

令和5年度定期総会が終了し、翌日の「募集協力者会同」で募集・援護、家族支援協力等に係る中央施策の説明を受け、自衛隊家族会から募集協力活動に関して創意工夫していることについて発表している最中に衝撃的な知らせがありました。

射撃訓練中の事件により2名の隊員が亡くなり、1名の隊員が重傷とのこと、ご冥福をお祈りするとともに、1日も早い回復をお祈りします。

この事件に係る報道を見聞きすると、いわゆる「世間」が如何に自衛隊のことを知らずにいるか、報道関係者が如何にもっともらしく誤りを報じるかに、今更ながら驚かされます。国の組織なのですから、国が国民に知らせる努力をすべきですし、国民は知る努力をすべきなのですが、足りないところは私たちが手伝い、国民が自衛隊・自衛隊員に係る事を正しく理解してもらうことによって、現役の隊員の応援になるのではないのでしょうか？

凶行に及んだのは自衛官候補生とのこと。

全国で鍛える他の自衛官候補生が自分の道をしっかりと踏みしめて歩まれることを、そして凶行の現場に居合わせた隊員の皆様が、自信を回復して進まれますようお願い申し上げます。

募集協力強調期間が始まります。より多くの適格者の情報提供に頑張りましょう！

2 防衛省・自衛隊の活動

- (1) 浜田防衛大臣が6月2日から4日までの間、シンガポールで開催された第20回 IISS アジア安全保障会議（シャングリラ会合）に出席し、スピーチを行うとともに、米国、韓国、オーストラリア、フィリピン、中国、ニュージーランド、ウクライナの各国国防大臣と会談しました。

統合幕僚長は防衛大臣とともに同会議に参加した機会を捉えて、米インド太平洋軍司令官、フィリピン国軍副参謀総長、豪国防軍司令官、シンガポール国軍司令官、NATO 軍事委員長、ドイツ連邦軍総監、オランダ国防軍参謀総長と精力的に会談し、インド太平洋地域が国際安全保障の焦点であるとの認識を共有し、緊密に連携してゆくことで一致しました。

陸上自衛隊は、5月27日から6月1日 までの間、人道支援・災害救援における衛生分野の能力構築支援事業として、自衛隊中央病院の隊員5名をモンゴルに派遣し、自衛隊中央病院が有する同訓練に関する識能を付与し、同軍の災害対処能力の向上に寄与しました。また、5月27日から7月16日までの間、防衛省が実施する国連三角

パートナーシップ事業において、北部方面隊第14施設群を基幹とした24名の隊員をインドネシアに派遣しています。

海上自衛隊は、令和5年6月3日から6月5日の間、東シナ海で、米海軍、オーストラリア海軍及びカナダ海軍と共同訓練を実施しました。

航空自衛隊は、5月26日～7月1日の間、米空軍の実施する演習（レッド・フラッグ・アラスカ）に参加しています。本演習参加の空自F-15J/DJが本邦及びアラスカ間を渡洋する際には、米空軍空中給油機による空中給油を受けます。

(2) 去る4月6日の陸上自衛隊所属のヘリコプター事故に係る葬送式が、6月18日に陸上自衛隊健軍駐屯地（熊本市）で、西部方面総監を執行者として執り行われました。

自衛隊家族会を代表して増田会長が列席、花を供し、10柱の御霊をお送りしました。

3 家族会の活動

(1) 令和5年度総会、表彰、理事会、意見交換会の開催（6月13日）

ア 議案

第1号議案：令和4年度事業報告

第2号議案：令和4年度収支計算書
及び「監査報告書」

第3号議案：理事の選任

次の方々を、理事として選任する議案
大宮英明氏（元三菱重工業株式会社社長）

※ 佃理事の後任

湯浅悟郎氏（元陸上幕僚長）

山村浩 氏（前海上幕僚長）

井筒俊司氏（前航空幕僚長）

【全ての議案は全会一致で可決しました。】

イ 報告

報告1：令和5年度事業計画

報告2：令和5年度分担金

報告3：令和5年度収支予算書

報告4：令和5年度資金調達及び設備投資の見込み

報告5：令和4年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告

自衛隊の活動支援基金による令和4年度激励実績及び同年度末現在の支援基金の現況などを報告しました。

報告6：「問い合わせ窓口」令和4年度を振り返って

令和2年度から開始した隊員及び家族（親等）からの問い合わせの件数、内容の分析、相談員の対応と結果、並びに総合所見などを報告しました。



収支計算書の説明：小泉理事



発言する沖縄県古門会長

その後、「関係団体との家族支援に係る連携強化施策について」と題して、防衛省人事教育局厚生課課長 坂部氏から、防衛関連3文書に明記された「家族支援の拡充」施策の検討状況の説明を受けました。

イ 第2回理事会

(ア) 議案

第1号議案：副会長の選任

大宮英明理事を副会長に選任する議案

第2号議案：県自衛隊家族会人事

神奈川、長野、長崎、各県家族会の選出に基づき、それぞれ、新会長を決議。

(敬称略)



	退任会長	新任会長
神奈川県家族会会長	小松 龍也	中條 祐介
長野県家族会会長	西澤 賢史	山東 知二
長崎県家族会会長	浦田 正	前川 要次

【全ての議案は全会一致で可決しました。】

(イ) 報告：代表理事及び業務執行理事の報告

各業務執行理事が、今年3月の理事会以降のそれぞれの業務執行状況を報告。

ウ 表彰

団体表彰として、鳥取県、神奈川県、栃木県等12県自衛隊家族会を表彰しました。

また、個人表彰として退任県家族会長などの4名を表彰するとともに、退任した佃副会長に感謝状を贈呈し、それぞれ永年の労に感謝を表しました。

(ア) 団体表彰

A 総合表彰

*最優秀賞：鳥取県自衛隊家族会

*優秀賞：神奈川県自衛隊家族会、栃木県自衛隊家族会

B 活動表彰 (以下〇〇県自衛隊家族会を〇〇県と省略して記載)

*会勢拡大優秀賞：新潟県

*おやばと購読優秀賞：岩手県、福岡県、高知県、兵庫県

*家族支援協力活動優秀賞：神奈川県、広島県

*防衛講演会優秀賞：東京都

*北方領土返還署名活動優秀賞：鳥取県

*募集協力活動優秀賞：宮城県、石川県、鳥取県

*援護協力活動優秀賞：新潟県

(イ) 個人表彰

*退任広島県自衛隊家族会会長：福谷 薫 様

*退任長野県自衛隊家族会会長：西澤 賢史 様

- * 退任長崎県自衛隊家族会会長：浦田 正 様
- * 退任神奈川県自衛隊家族会会長：小松 龍也 様
- * 退任東京都自衛隊家族会会長：佐竹 正紀 様

(ウ) 感謝状贈呈

- * 退任自衛隊家族会理事／副会長：佃 和夫 様

エ 意見交換会

井野俊郎防衛副大臣をはじめとする御来賓の列席の下、意見交換会を開催しました。

増田会長の挨拶の後、井野俊郎防衛副大臣、中谷元自衛隊家族会顧問から、それぞれお言葉をいただき、浜田靖一防衛大臣、佐藤正久、中谷真一両自衛隊家族会顧問から祝電を頂戴しました。統合幕僚長吉田陸将の発声により乾杯し、日頃お目にかかれない防衛省高官の方々と交流し、中央のお話を伺い、また、現場の状況をお伝えする貴重な時間を過ごすことができ、また、会半ばから参加の佐藤顧問からもお言葉を頂きました。

ご出席いただいた御来賓は次のとおりです。



防衛副大臣	井野 俊郎 様
防衛事務次官	鈴木 敦夫 様
統合幕僚長	吉田 圭秀 陸将
陸上幕僚長	森下 泰臣 陸将
海上幕僚長	酒井 良 海将
航空幕僚長	内倉 浩昭 空将
防衛省人事教育局長	町田 一仁 様
大臣官房政策立案総括審議官	石川 武 様
航空幕僚副長	小笠原卓人 空将
自衛隊家族会顧問	中谷 元 様
自衛隊家族会顧問	佐藤 正久 様
日本郷友連盟会長	森 勉 様
隊友会理事長	折木 良一 様
防衛弘済会理事長	田原 義信 様
全国防衛協会連合会会長佃和男様代理	伊藤 盛夫 様
自衛隊援護協会理事長	伊藤 盛夫 様
朝雲新聞社代表取締役社長	中島 貴広 様

ご紹介した他、多くの皆様、有難うございました。

(2) 募集協力者会同

6月14日0900～1145の間、陸上幕僚監部主催の募集協力者会同に参加しました。冒頭、陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長 不破1佐のご挨拶に始まり、内局、陸・海・空各幕領監部の施策の説明を受けたのち、自衛隊家族会を代表して青森

県、石川県、岐阜県、鳥取県の順で「厳しい募集環境に対応するための創意工夫」をテーマに、現場の状況と、それをいかに打開して募集～入隊につなげてゆくかを発表しました。自衛隊家族会員相互に情報を共有することはもちろん、内局等にも、家族会の会勢拡大・活動活発化が募集・援護、家族支援協力の充実に大きくかかわりを持っていることをご理解いただけたものと思います。

尚、会議冒頭の不破課長の挨拶の中に「「おやばと」の記事が募集に大変役立っている。」という趣旨の発言があり、意を強くした次第です。

(3) 家族会活動トピック

ア 6月7日(木)古賀市自衛隊家族会が飯塚駐屯地を研修し、自衛隊に対する理解と信頼を更に深めました。

○所在部隊の研修、○施設見学、○体験喫食
福岡地本の皆様、有難うございました。



イ 6月7日(木)上越市自衛隊家族会は自衛官候補生の25km行進を激励しました。



ウ 6月10日(土)青森県家族会は第9師団創立61周年並びに青森駐屯地開庁72周年記念行事を激励しました。



(第9師団 twitter より。)



青森市の目抜き通りである青森駅前新町通りにおける市中パレードでは、自衛官候補生20名の堂々たる行進をはじめ、第9戦車大隊(岩手駐屯地)の改編に伴い最初で最後となる74式戦車の行進も行われました。

4 事務局からの連絡

(1) 2024 パリオリンピック／パラリンピック出場隊員等支援募金のお願い

令和5年度自衛達家族会事業計画の「(公2) 隊員等に対する慰問・激励」に基づき、パリオリンピック・パラリンピックに出場する隊員等を支援・激励いたします。

つきましては、別添により募金を宜しくお願い致します。

- ① 募金額の基準：2万円/県家族会
- ② 募金期間：令和6年2月末を目標
- ③ パリオリンピック／パラリンピック出場隊員等支援金の振込要領

*口座名：公益社団法人 自衛隊家族会

*口座記号番号：00140-9-6014

00		払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
口座記号		口座番号(右詰めで記入)		金額	
00	140	9	6014	千	百
加入者名 *公益社団法人 自衛隊家族会			料金	備考	
通信欄 * オリンピック募金			日附印		
ご依頼人 おなまえ			料金 円		
ご依頼人 おなまえ			備考		
ご依頼人 おなまえ			日附印		

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

通信欄に必ず「オリンピック募金」とお書きください

(2) 現職自衛官等への講話／ブリーフィング等依頼の手続きについて

保全上の観点から、各幕僚監部での手続きが必要になっています。従来、現場でお願いしていた要領に加えて、依頼先部隊等から教示があると思いますので、それに従って手続きを進めて下さい。